



食クラスター
「地域フード塾」事業



2020年度

食クラスター【地域フード塾～絶品コース】第8期



「地域フード塾」では、講義、演習、討議のほか、地域研修や企業視察も行い、自社の絶品づくりを目指した「3か年計画」を作りあげていく

- 1 2020年度の8期生にあたる塾生たち。無事に修了し、副知事や講師陣と記念撮影
- 2 写真は講師の一般社団法人流通問題研究協会相談役三浦功氏。著書に「地域絶品づくりのマーケティング～地方創生と北海道フード塾」など



地域資源を有効活用できる人材を育成

北海道では、地域における食関連産業力の向上を図るため、産学官金のオール北海道体制で「食」の高付加価値化を目指す食クラスター活動を展開中。その活動の一環として、道内各地域で商品(食品)づくりに携わる方などを対象にした「食クラスター『地域フード塾』」を実施しています。

「地域フード塾」は、マーケティング手法の活用と併せて、地域特有の資源を有効に生かした商品(絶品)づくりや、地域ネットワークを活用したプロジェクト展開等を図ることのできる人材を育成。食クラスター活動をより推進させていくことを目的にしています。

主催：北海道 共催：株式会社北洋銀行、大和証券株式会社、帯広信用金庫

食クラスター【地域フード塾～事業化コース】第2期



「事業化コース」は塾生たちが事業を展開するにあたり、より実践的な手法の習得を目指し、勉強会の枠を超えた参加型カリキュラムを中心に構成

- 1 事業化コースの2期生として、修了を果たした塾生たち
- 2 写真は全体コーディネーター兼講師の前田直樹氏。中小企業診断士として数多くの経験から個別指導にあたる



事業計画の立案を通して経営力を磨く

2013年から開催してきた「フード塾」「地域フード塾」では、7年に渡り、173名の修了生を輩出してきました。2019年度からは、これまでの修了生を対象とした「塾後の塾」となる研修を開催。事業計画の立案を通して「食品づくり」における経営力をアップし、事業の展開・多角化

に取り組み、高付加価値市場への販路拡大を目指す人材の育成を目的にしています。自社の財務分析から事業計画の立案など、個性を高めた内容となっています。

主催：北海道 共催：株式会社北洋銀行、大和証券株式会社、帯広信用金庫

第1回・絶品マーケティングの 基本戦略と地域絶品商品開発

札幌

9月10日(木)~11日(金)

北洋銀行セミナーホール

研修の初回は塾生全員が札幌に集合。自社商品を持ち寄っての自己紹介から研修はスタート。



絶品マーケティングとは？

実践的で多彩な講義

withコロナ時代の地域絶品マーケティング戦略をメインに、営業戦略、売れる場づくり、物流の仕組みなど、多方面の幅広いテーマでカリキュラムを構成。塾生は能動的な参加で「考え方」を身につける



人的ネットワークの構築

塾生や講師、地域との絆づくりも、この塾の大きな目的

この研修はノウハウを得るだけでなく、将来に続くネットワークをいかに築くかを重要視。フード塾のOB達も、自らの貴重な経験談を惜しみなく披露してくれる

2020年度 開催概要

■ 地域フード塾～絶品コース研修(全9日間)

第1回	札幌市	令和2年 9月10日~11日
第2回	恵庭市・旭川市 函館市・帯広市	令和2年10月 5日~ 6日 令和2年10月 8日~ 9日
第3回	札幌市	令和2年10月29日~30日
第4回	札幌市	令和3年 1月20日~21日、25日

■ 成果発表会・修了式

札幌市	令和3年 1月26日
-----	------------

2020年度 講師陣 (敬称略/50音順)

- 青島 弘幸(創発コンサルティング 代表/中小企業診断士)
- 有馬 英昭(有馬デザイン 代表)
- 内田 勝規(㈱オフィス内田 会長)
- 大谷 武史(国分北海道㈱ マーケティング部長)
- 桐生 宇優(北雄ラッキー㈱ 代表取締役社長)
- 斉藤 博之(北海道物流開発㈱ 代表取締役会長)
- 佐竹 嘉廣(合同会社廣龍代表/IDR特別研究員)
- 田村 茂 (㈱日本マーケティング塾 取締役/office igatta 代表)
- 橋本 佳往(一般社団法人流通問題研究協会 専務理事)
- 前田 直樹(前田直樹事務所 代表/中小企業診断士)
- 三浦 功 (一般社団法人流通問題研究協会 相談役)
- 三浦 健人(㈱アミノアップ/一般社団法人北海道バイオ工業会 事務局長)
- 水沼 正明(公益財団法人北海道科学技術総合振興センター 地域連携支援部 地域連携コーディネーター)
- 村澤 規子(一般社団法人流通問題研究協会 研究員/北のいい旅プランナー)
- 森川 大 (生活協同組合コープさっぽろ 宅配事業本部 企画部 部長)
- 吉岡 史世(北海道とさんこプラザ 札幌店 店長)
- 北海道食クラスター「フード塾」OB会(E-ZO)メンバー

2020年度 開催概要

■ 地域フード塾～事業化コース研修(全7日間)

第1回	札幌市	令和2年 8月25日
第2回	札幌市	令和2年 9月 8日
第3回	札幌市	令和2年10月12日
第4回	札幌市・積丹町	令和2年11月 4日~ 5日
第5回	札幌市	令和3年 1月20日、25日

■ 成果発表会・修了式

札幌市	令和3年 1月26日
-----	------------

2020年度 講師陣 (敬称略/50音順)

- 岩井 宏之(㈱積丹スピリット 代表取締役)
- 川根 範也(㈱北洋銀行 地域産業支援部 管理役)
- 抜山 嘉友(北海道・地域と食のプランナー/中小企業庁 北海道よろず支援拠点コーディネーター)
- 橋本 佳往(一般社団法人流通問題研究協会 専務理事)
- 前田 直樹(前田直樹事務所(㈱) 代表/中小企業診断士)
- 水沼 正明(公益財団法人北海道科学技術総合振興センター 地域連携支援部 地域連携コーディネーター)
- 諸橋 真 (㈱北洋銀行 地域産業支援部 副部長)

第2回・地域資源の活かし方と 先輩OBの取組みから学ぶ知恵と工夫

恵庭

10月5日(月)～6日(火)

余湖農園

第2回研修は地域資源の活用を考えるべく、4地域に分かれて実施。OB企業を訪問し、現場の声に直接触れる機会を設けた。



地域ならではの魅力を反映させるには？

地域のストーリーを商品に盛り込んだ絶品づくり

地域周辺のOBも集結。直売所を兼ねた恵庭の道の駅も視察、地元の食材や風土を反映した商品群に、集客のポイントや地域資源を活かすモノづくりのヒントを得た



地元の魅力を 生産現場から発信！

生産者の熱い思いを感じ取る2日間

恵庭会場は、OB企業の余湖農園自体が研修会場。生産現場でのチャレンジを目の当たりにして、地域ブランドにこだわることの難しさや可能性、安心安全を守り抜く厳しさなどを学び取った

旭川

10月5日(月)～6日(火)

北洋銀行 旭川中央支店

地元の先輩方の言葉が実感を伴って、心に突き刺さる。直に聞いた絶品づくりの事例は、具体的な気づきをもたらしてくれる。



地元で根付くOB企業を視察

発想の豊かさ、新しさに触れる

OB企業の上森米穀店を訪問。豊かな地元食材の魅力を伝えようとしていたり、健康・ヘルシーを追求したり、しっかりしたコンセプトのもとにオリジナルを追求する積極的な姿勢に大きな刺激を受けた



仲間とのコラボ力を活かした絶品づくり



老舗の枠にとどまらない挑戦が続く

老舗の高砂酒造の視察では、地域の歴史や文化を活かすことの大切さとともに、フード塾の仲間達と一緒に新商品を作り上げる面白さや楽しさを直に聞くことができた

函館

10月8日(木)~9日(金)

旧松橋商店 港の庵

弱みを強みに変えた戦略は何か、ニーズをタイムリーにとらえているか。視察の狙いは、あらためて考えるきっかけを作ること。



新鮮な視点で発想転換ができるか？

リアルな成功談・失敗談が大きな参考に

函館会場は地域の文化が色濃く残る歴史的建造物。福田農園では、逆転の発想で弱みを強みに変えた試みやターゲットの絞り込み戦略などを教えてもらった。同じ七飯町の日乃出食品の工場も視察



消費者が地域に求めるものは？

ニーズに応えた商品開発や買いたくなる買い場づくり

函館・湯の川にオープンしたばかりの「北海道さんこプラザ」では、商品をヒットさせるために、道南の魅力をどう盛り込んでいるか、目をひく工夫など、買い手目線を強く意識した視察となった



帯広

10月8日(木)~9日(金)

帯広信用金庫 中央支店

各地域に分かれての研修は、ネットワークの形成が大きな狙いだから。視察や少人数の話し合いで、塾生同士やOB達との絆が深まっていく。



十勝だからこそそのメッセージ発信

地元密着企業の挑戦

地域資源をいかに活用し、自社の商品にどう付加価値をつけていくのか。帯広会場では、足寄町にできたばかりの牧場カフェCafe de Caminoと帯広市内のノブキッチンカフェを訪れ、豊かな食や自然をどう発信していくかを学んだ

絆を強める意見交換や討議

学びをもとに自社の目標や行動計画を明確化

視察後は、同じ地元に住む仲間たちと討議。悩みごとには、自分ごととして積極的にアドバイスし合い、活発な意見交換が行われた



第3回・売れる商品づくりのポイントとマーケティング財務

札幌

10月29日(木)~30日(金)

大和証券 18階ホール

食絶景づくりのマーケティング、売れる商品の違い、財務の基礎知識など。専門家を招いて、実務に直結する講義も実施。



売れる地域絶品とは？

すぐに役立つノウハウを提示

著名なバイヤーや北海道どさんこプラザの店長、パッケージデザイナーやマーケティング財務の専門家などに講義を依頼。実務を意識した多彩なカリキュラムとした

第4回・わが社の3か年計画とマーケティング戦略の構築

札幌

1月20日(水)~21日(木)

北海道庁 会議室

1月25日(月)

札幌パークホテル

研修最終回は、ZOOM受講、映像受講を取り入れたハイブリッド型(リアルとオンラインによる)の講義形式。



学びの集大成として、各自、練り上げた「自社の今後3か年の行動計画」を発表。必ず実行するという固い意思のもと、目標を共有しあう

経営力アップを目的に、財務と事業計画の立案ポイントを学ぶ

札幌 積丹

8月25日(火)、9月8日(火)、

10月12日(月)、11月4日(水)

大和証券 18階ホール

11月 5日(木)

積丹スピリット

1月20日(水)

北海道庁 会議室

1月25日(月)

札幌パークホテル



事業計画づくりにイチから着手！

自社の目標と課題を明確に

「塾後の塾」は経営課題を明確化するところからスタート。グループ討議を重ねる集団コンサルティング研修で、個々の経営課題、財務にも細かく切り込んでいく。町を巻き込んだ事業計画の実現事例として、積丹スピリットの視察も実施



絶品力は粗利と利益率

数字はウソをつかない。実現性の高いアクションプランを作成

徹底した財務分析と講師の個別指導のもと完成させた事業計画書に基づき、研修の総仕上げは、金融機関への借入相談を想定した模擬プレゼンテーション



危機感を切実に抱く「今」 だからこそ、早めのスタート！

札幌

1月26日(火)
札幌パークホテル

今年度は絶品コース29名、事業化コース10名、計39人の修了生を輩出。それぞれの決意表明のあと、修了式を開催。修了証書を胸に、これが新たなスタートであるという、強い覚悟を共有した。



修了式のあとは、同日同会場で開催された、食のサポーターや専門家(シェフ、パイヤー)たちによる「食のブランド・ステップアップ相談・商談会」にも参加。早速、計画実現に向けての大きな一歩を踏み出した



フード塾および 地域フード塾修了生に よる会員組織

「E-ZO(イーゾ)」との 連携ネットワークを構築

食クラスター「フード塾」および「地域フード塾」事業は、今期8年目。これまでの修了生は道内全域に、延べ202名となった。その修了生有志が集結。このネットワークをより強固にして継続させようと2017年に発足した会員組織が「E-ZO(イーゾ)」であり、「地域フード塾」のスムーズな運営も、「E-ZO」との力強い連携に支えられている。



E-ZOメンバーは「事業化コース」への参加のみならず、「絶品コース」にも深く関わっている。視察受入のほか、何人ものOBが身近な先輩かつ講師という立場で参加。その活動報告に、塾生達は大きな刺激を受けている。また、この場で築いた仲間意識や信頼関係が、今後の地域ネットワークの形成にも発展していく



新型コロナ感染防止対策について

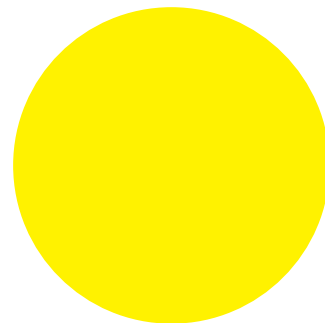
今年度は、新型コロナ感染症が猛威をふるう状況下での開催だったという特殊事情に見舞われた。参加関係者も最小限にとどめ、マスクや手袋の着用、消毒作業、ソーシャルディスタンスや飛沫防止シートなど、数々の感染防止対策を徹底。講義はコロナ禍を生き残るための視点を置き、初めてのオンライン開催などにも取り組んだ



北海道食のキーパーソン育成研修等事業 2020年度 食クラスター「地域フード塾」研修修了者

[絶品コース]

秋元 力	札幌市	株式会社天然生活 SATURDAYS 事業部 代表取締役社長
飯田 浩司	新冠町	Peekaboo(ピカブー) 代表
伊谷 美香	北見市	株式会社伊谷商事 取締役 商品開発部 部長
小田島 章喜	函館市	小田島水産食品株式会社 営業部長
木下 喜久雄	長沼町	株式会社マオイフーズ 代表取締役
儀間 雅真	足寄町	野生肉専門店やせいのおにくや 代表
木村 充	長万部町	有限会社サンミート木村 代表取締役社長
工藤 英洋	七飯町	日乃出食品株式会社 代表取締役
佐々木 克彦	札幌市	株式会社アスモ 代表取締役社長
重原 伸昭	羽幌町	株式会社重原商店 代表取締役社長
杉本 裕子	中札内村	株式会社ベジハート 取締役
鈴木 知克	占冠村	株式会社占冠山村産業振興公社 取締役
高井 啓	二セコ町	株式会社高橋牧場 店長代理
富原 剛	七飯町	箱館醸蔵有限公司 取締役
中川 真吾	函館市	株式会社ロカラ 代表取締役
中塚 隆雄	足寄町	Doucement(ドゥースモン) オーナー
中村 和恵	厚沢部町	厚沢部町地域おこし協力隊員
中村 卓也	室蘭市	株式会社なかむら家 代表取締役
西川 直哉	和寒町	西川農園 代表
西大條 亮	旭川市	いとげん味噌工房 代表
福嶋 真理	旭川市	ファームカントリーロード 代表
古田 亜由美	北見市	株式会社エフゾーン レストラン部 代表取締役
本間 幸雄	足寄町	しあわせチーズ工房 代表
前田 茂雄	本別町	前田農産食品株式会社 代表取締役
増田 貴行	音更町	株式会社山本忠信商店 執行役員 農産部 部長
松本 茜	旭川市	旭川公園ゲストハウス カフェ担当
村田 文明	札幌市	株式会社Ver 代表取締役
元澤 洋	夕張市	農業生産法人合同会社小野農園 代表
山形 大河	えりも町	えりも食品株式会社 営業部



[事業化コース]

一條 忠春	新ひだか町	中華料理 大龍・一條製麺 代表
太田 一徳	新ひだか町	有限会社太田養蜂場 営業部主任
金 鉄洙	函館市	tanosimou 代表
郷 和樹	江別市	株式会社菊田食品 代表取締役社長
澤村 礼	中富良野町	ゆい菓 代表
田畑 修	札幌市	株式会社KITA COVO 代表取締役
樽安 信子	帯広市	Nobu Kitchen café 代表
中陳 大樹	稚内市	中央水産株式会社 代表取締役社長
服部 真弥	八雲町	服部醸造株式会社 常務取締役
山口 善紀	厚真町	株式会社あつまみらい 代表取締役

※以上、五十音順



北海道

北海道経済部 食関連産業室 食クラスター係
〒060-8588 札幌市中央区北3条西6丁目
Tel.011-204-5979 Fax.011-232-8860

北海道食のキーパーソン育成研修等事業

[受託者]

一般社団法人 流通問題研究協会